

第2回放課後勉強会 オンライン開催

子どもの 発達や特性に 応じた関わり方 場づくりを考える

11月12日 土
13:00-15:00

対象 放課後運営スタッフ（放課後児童支援員の方
放課後子供教室／放課後等デイサービスの運営に携わる方など）
地域の子どもの居場所づくりに取り組む、または興味のある方



Illustration by きしもとたかひろ

子どもをまんたよかくこ 私たちで描く、これからの放課後

放課後NPOアフタースクールは、どんな子も主体性を發揮でき、自己肯定感を育める放課後づくりの推進に向けて、専門家をお招きしながら年3回の勉強会を開催します。第2回目では、放課後の子どもの「多様性」をテーマに、現役の特別支援学校の教諭である川上康則氏をお招きし、子どもの発達や特性に応じた関わり方について理解を深め、発達に障がいのある子も共に楽しみ、育ち合えるような場づくりについて考えていきます。昨今、学校教育だけでなく放課後の子どもの居場所においても議論が深められているインクルーシブ教育・インクルージョン（障がいの有無に関わらず全ての子どもたちが共に学び・過ごせる仕組み）について実践の広がる機会になることを目指します。子どもの存在をまんなかに、参加者の皆さんとの学びを大切につくっていきます。

Supported by
日本財団
THE NIPPON FOUNDATION

当日の流れ ※時間・内容は変更になる可能性もございます。

- 13:00 チェックイン、勉強会の概要説明／今回のテーマについて
- 13:10 研修「放課後での子どもの発達や特性に応じた関わり方を考える」
- 14:30 実践報告「放課後でのインクルーシブな場づくりを考える」
- 14:50 チェックアウト、各種お知らせ



ゲスト 川上 康則さん



東京都立矢口特別支援学校主任教諭。公認心理師、臨床発達心理士、特別支援教育士スーパーバイザー。
日本授業UD学会理事。NHK「ストレッチマンV」「ストレッチマン・ゴールド」番組委員。
学研教育みらい 令和2年度版「みんなの体育」編集委員。
特別支援学校にて教育実践を積むとともに長年、地域の相談支援に携わってきた。
現在、「実践みんなの特別支援教育」(学研)、「週刊教育資料」(日本教育新聞)
「TOKYO手をつなぐ」(東京都手をつなぐ育成会)、「wutan」(全国初等教育研究会)の4誌で連載中。

＼お申込みいただいた後日アーカイブ配信（一部）視聴可能／

11/8(火)受付締切 要事前申込み

参加費無料

<https://form.run/@houkago-bennkyoukai-2022-2>

問合わせ先 特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクール 事業開発チーム

放課後 NPO
アフタースクール

kaihatsu@npoafterschool.org

03-6721-5043

